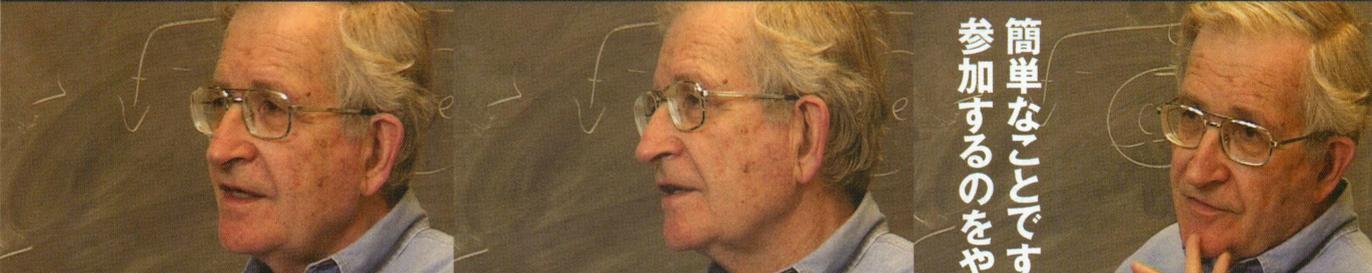




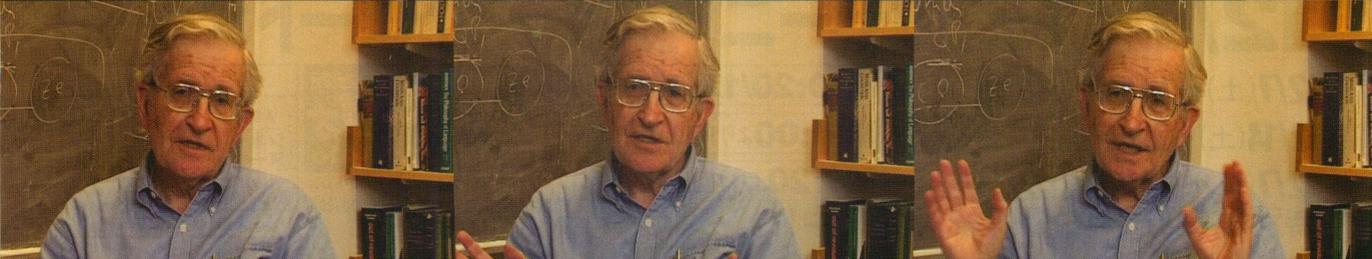
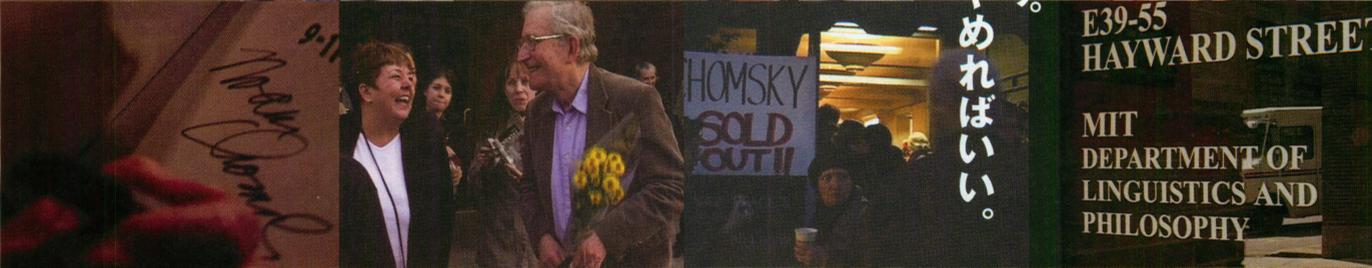
誰だってテロをやめさせたいと思っている。

ジャン・ユンカーマン監督によるドキュメンタリー映画

チョムスキー 9.11 Power and Terror



簡単なことです。
参加するのをやめればよい。



アメリカの外交政策を静かに批判し続ける反骨の知識人ノーム・チョムスキー。

昨年同時多発テロから1年、今もっとも求められている言葉を、21世紀の知の巨人が誰よりも明解に語る。

チョムスキー 9.11 Power and Terror

企画・製作=山上徹二郎 監督=ジャン・ユンカーマン 撮影=大津幸四郎
整音=弦巻裕 編集=ジャン・ユンカーマン、秦岳志 アソシエイト・プロデューサー=小川真由
音楽=忌野清志郎
35ミリ/カラー/74分/2002年シグロ作品 公式サイト www.cine.co.jp

「対テロ戦争」という言葉は眉つばです。

第一の理由は、それが世界で最悪のテロ国家アメリカに率いられているからです」

今年74歳になるノーム・チョムスキーは、現在もマサチューセッツ工科大学教授として研究を続ける言語学者。言語学の世界に革命をもたらし、京都賞を受賞するなど世界中でその業績が高く評価されている。一方で、ベトナム戦争以来、アメリカの外交政策を批判する活動を一貫して続けており、特に昨年の9月11日におきた同時多発テロ以降、彼の事実に基づいた鋭い政治評論と発言は、アメリカ内外で高い注目を集めている。

ロックバンドU2のボーカル、ボノが「飽くなき反抗者」と呼ぶ反骨の知識人、

ノーム・チョムスキー。本作は、アメリカにおけるもっとも重要な「アメリカ批判者」であるチョムスキーの最新のインタビューとその活動の記録である。

本作の監督は、画家の丸木位里・丸木俊夫妻を描いた『劫火——ヒロシマからの旅』でアカデミー賞ドキュメンタリー部門にノミネートされたジャン・ユンカーマン。与那国でカジキと闘う82歳の老漁師を描いた『老人と海』で東京の劇場動員記録を塗り替え、日本庭園についてのドキュメンタリー「夢窓——庭との語り」ではアメリカ・エミー賞を受賞した、ユンカーマン監督の待望の最新作である。

「これは歴史的な出来事です。ただし、残虐行為のひどさや性質のためではない。

誰が犠牲になったかという意味で、歴史的なのです」

言語の根もとに最低限の道徳があり、それはテロと対立する。

チョムスキーからの言いつたえ。

—— 鶴見俊輔 (哲学者)

チョムスキーの話しぶりはとても優しく穏やかだが、その強烈で力強い内容は私の心を打つ。知性の中の、眠っていた良心が目覚めさせられた。

—— チョン・テソン (プサン国際映画祭・PPPディレクター)

善悪の二元論に席卷されたと思っていたアメリカの深部に闘う知識人チョムスキーの、素敵な好々爺ぶりが可愛い。そこに渦まく聴衆の熱い歓迎ぶりに、一抹の希望が輝いて見える。—— 佐藤 真 (映画監督)

ノームが語る政治についてのメッセージと彼の人柄の両方を、この映画は深く完璧にとらえている。偽りのないこの作品に、心から感動した。

—— キャロル・チョムスキー (教育学者)

映画に収録しきれなかった
言葉がここにある

ノーム・チョムスキー 著 監修:鶴見俊輔

『ノーム・チョムスキー』

定価1000円/発行:リトル・モア/TEL 03-3401-1042

Noam Chomsky
ノーム・チョムスキー



12/7(土)反骨のモーニング&レイトロードショー!!

12/7(土)~13(金) **モーニング AM10:20/12:00** 2回上映

12/14(土)~20(金) **モーニング AM11:00**より1回上映 (終12:25)

12/7(土)~13(金) **レイト PM8:20**より1回上映 (終9:40)

特別鑑賞券1400円好評発売中!! ■当日/一般1700円、学生1400円、高・中・小・シニア1000円

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩2分

シネ・ヌーヴォ
TEL.06-6582-1416

(シネ・ヌーヴォのホームページ) アドレス
<http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/>

